

2017年11月1日



## 米国ワシントン州ペインフィールド空港との連携強化について ～「Dream Greener Program」を開始します～

中部国際空港株式会社は、米国ペインフィールド空港を運営するワシントン州スノホミッシュ・カウンティ(郡)との間で空港運営等に関する協力覚書を締結していますが、このたび11月1日より、環境に関する新プログラム「Dream Greener Program」を開始しますので、お知らせします。

今後、ペインフィールド空港における取り組みが進められるとともに、両空港間で環境管理に関する意見交換や技術的な情報交換が進められる予定です。また、ペインフィールド空港側がセントレアに来港する場の設定も検討しています。

開始に際して、中部国際空港株式会社代表取締役社長の友添雅直は以下のようにコメントしています。

今回の「Dream Greener Program」の始動により、セントレアとペインフィールド空港との連携がさらに深まることを嬉しく思います。セントレアは、空港建設前から環境負荷の低減や循環型社会の形成を経営の優先課題の一つとしております。水質管理をはじめとした我々の取り組みが、さまざまな環境改善に取り組んでおられるスノホミッシュカウンティの皆様にご評価いただいたことを誇りに思います。共に豊かな海に恵まれた立地であるペインフィールド空港とセントレアは、空港運用・管理の様々な分野において、最良事例を学び、ノウハウを共有するため連携して参ります。

### 記

#### 1. 「Dream Greener Program」の概要について

●開始日: 2017年11月1日(水)

●ペインフィールド空港における取り組み

- ・周辺流域への「亜鉛排出削減」、
- ・「雨水排水のサンプリング地点を追加」し、国家汚染物質排出防止システム(NPDES)認証の継続的な遵守を確実にすべく、追加で得られるデータを提供。

→上記の水質関連プログラムにより、Salmon-Safe 認証(※)を取得

- ・新規購入車両のハイブリット／電気自動車化、
- ・格納庫はじめ諸施設への太陽光パネル設置 など

●中部国際空港への期待

- ・意見交換ならびに技術面での情報交換

(※) Salmon-Safe とは  
ワシントン州を含む米国西海岸における地域環境保全の取り組み。  
米国の独立非営利公益法人によるもので、都市部ならびに農村部の流域が、天然サーモンが産卵し繁栄できる環境であり続けるよう、様々な枠組みが構築されている。

以上